



西尾いきものふれあいの里だより

7月号

2024.7.1 発行

さとやま

7月の里といきもの



今年は梅雨入りが遅れ、梅雨の前から30℃越えの日もありました。遅く始まっても梅雨明けが遅れるというわけではなく、短期集中型になるのではないかと予想されています。

そんな梅雨が明ければ、さらに猛暑となりそうで、センター正面のグリーンカーテンも涼し気に見えることでしょう。

ほとんどはアサガオですが、中にフウセンカズラが混じっています。

フウセンカズラは、熱帯・亜熱帯原産のムクロジ科に分類されるつる性の1年草です。成長が早く大きく育つため、グリーンカーテンとしてよく利用されています。花は直径3~5mm程度で非常に小さいですが、風船のような膨らんだ大きな実がなります。



実の下半分を切り取ると、写真のように3つの部屋に分かれています。実は1つずつ、その部屋の接合部と繋がっていて、これを外すと、いちばん右の写真のような若い種子がとれます。



実は熟すと茶色くなり、種子は黒く色づきます。部屋との接合部はきれいに外れて白いハート模様がくっきり見えます。

この実や種子がかわいいため人気ですが、インドやジャワ島では、若芽を食べたり、中国では全草を解毒・利尿に用いたりするそうです。

7月はこんな生きものも見られます

ビオトープ上の池では、**ハンゲシヨウ**が群生しています。ドクダミ科に分類される多年草です。名の由来は、花穂の周囲の葉が一部を残して白く変色するので「半化粧」からとか、七十二候の「半夏（ハンゲ）」の時期に花が咲くからだとか言われています。葉は、花が終わると徐々に緑色に戻っていきます。

菖蒲池奥のあぜや、田んぼエリアの水たまりでは、**ヌマトラノオ**の群生が白い花穂をつけます。サクラソウ科に分類される多年草です。花穂が上を向いていて虎の尾のようには見えませんが、近縁の**オカトラノオ**は垂れ下がっていてそこからついた名です。

また、田んぼエリアなどでは**セリ**の花もみられます。セリ科に分類される多年草で、「春の七草」に数えられるように、春の若くて柔らかい時期が食べ頃です。



田のあぜには、ミゾカクシの花がたくさん咲いています。キキョウ科に分類される多年草で、花びらは下向きに3枚、その両脇に横向きに2枚ついて、まるで半分だけ咲いているように見えます。小さい花ですが秋まで咲き続けるので探してみてください。

トンボの里や万灯山エリアでは、和蘭のコ克蘭の花が6月の終わりから7月上旬頃見られ、初夏から秋までヤブミョウガの白い花が見られます。ヤブミョウガはミョウガなどのショウガ科ではなく、ツユクサ科に分類されますが、葉がミョウガに似ているため名が付けました。



万灯山へ向かう道沿いには、リョウブ科に分類されるリョウブが高い枝先に白い小さな花を穂状につけます。その様子が百千万の旗が翻っているようにみえることから、ハタツモリ（旗積もり）とも呼ばれます。アゲハチョウの仲間が好んでこの花を訪れます。

万灯山山頂では、一面にアキノタムラソウが群生し、青紫色の花穂をつけます。シソ科に分類される多年草で、「秋」と名がついていますが、ここでは7～8月がピークで、その後お盆に行われる「貝吹のかぎ万燈」の行事のための草刈りでほとんど姿がなくなります。

この時期山頂付近で見られる、キク科のオケラの魚の骨のような総苞に包まれた花芽や、ハマウツボ科の1年草の、ご飯粒のような膨らみのあるママコナの花もその草刈りで姿を消すことが多いので、7月中に探しておきたいものです。

キジカクシ科のヒメヤブランの小さな青い花は、花期が短いため、その前に見られなくなります。



里全体の、コナラの木などで、甘酸っぱいにおいがすることがあります。これは木からにじみ出た樹液が発酵して出るにおいです。そのような場所では、樹液を求めてノコギリクワガタをはじめとした甲虫や、蝶、ハエやハチのなかまなどが集まっています。また、その昆虫を狙って、カマキリのなかまや、鳥、トカゲのなかまなどがやってきていて、樹液を中心とした食物連鎖の様子が観察できます。

梅雨が明けた里で、こんないきものたちを探して散策してみてください。ただし熱中症には十分注意して、水分補給を忘れずに。

6月の行事紹介



「草木染にチャレンジ!!」を6月15日(土)に開催しました。

初めに草木染をする材料として、ヒメジョオンを採取に。用意されたヨモギやマリーゴールドなどを煮詰めて染液作り、その間に、白い木綿のハンカチに輪ゴム、ビー玉など縛り付け、模様を作るための下準備をしました。次にでき上がった4種類の染液に20分ほど混ぜながら液を染み込ませました。最後に、水洗い、乾燥させて、草木染の独特なきれいな色に模様が入った素敵なハンカチができ、参加者は大満足でした。

7月の行事予定

21日(日)	梅雨時のキノコを観察しよう	20名	AM 9:30~11:30	石川まゆみ
--------	---------------	-----	---------------	-------

内容 ~ 梅雨時は、湿気があるので身近な所でもキノコを見つけやすい季節です。

里山を散策し、梅雨時だからこそ見られるキノコを探して観察してみよう。

28日(日)	夏の昆虫を探そう	30名	AM 9:30~11:30	当園職員
--------	----------	-----	---------------	------

内容 ~ 里山の自然の中を散策しながら、どんな昆虫がいるか探します。

カブトムシやクワガタなどの昆虫の探し方やつかみ方を実践します。

トンボやアゲハチョウなど実際にタモを使って採取し、観察した後、自然に戻します。

8月の行事予定

4日(日)	里の水辺の生きものを探そう	30名	AM 9:30~11:30	神本晃
-------	---------------	-----	---------------	-----

内容 ~ 里山を流れる小川には、色々な生きものがすんでいます。

実際に川の中に入って、タモで捕まえて観察します。

25日(日)	佐久島ってどんなところ？ シーグラスでアクセサリを作ろう	20名	AM 9:30~11:30	三矢由紀子
--------	---------------------------------	-----	---------------	-------

内容 ~ 西尾市にある離島 佐久島の自然と環境の話を聞いて、

島で集めたシーグラスを使って自分だけのアクセサリを作ってみましょう。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課